

## 平成 18 年度 通常総会・記念講演会・交流会レポート

開催日 2006 年 6 月 8 日 (木)

於 長野市 ホテル国際 21 弥生の間

### [通常総会]

14:00 開会

14:02 会長挨拶

#### [挨拶要旨]

県下のデザイン関係団体が一致結束し当協会を設立してから、5 回目の総会になります。

設立に際し私達は、今後地方がもっと自立しなければならない時代になり、自らデザイン力を高めることが必要になると考えました。

それから 4 年、周囲の情勢は予想を上回る速さで変わり、今全国各地で「独自のブランドをつくろう」という取り組みが盛り上がりを見せ、このことが地方の自立性を促進する重要な鍵となってきました。

私達は当初から、「地元のデザイン業を活かした県下独自のブランドづくり」の必要性を掲げ、これまで「信州ブランドアワード」や「信州ブランドフォーラム」他の事業活動を推進し、それらは周囲からも賛同をいただいて参りました。

これに伴い当協会に対する期待も高まっていますが、これは長野県でも私達のような創造的な職の人材がいよいよ望まれる時代になりつつある兆しでしょう。

本年はこのような流れを絶やすことなく、一層会員が心を合わせ、関係各方面のご支援・ご協力も仰ぎながら、力強く活動して参りたいと思います。



塩沢会長

14:05 議案審議

- [第 1 号議案] 平成 17 年度 事業活動報告について
- [第 2 号議案] 平成 17 年度 収支決算報告について (監査報告)
- [第 3 号議案] 平成 18 年度 事業計画 (案) について
- [第 4 号議案] 平成 18 年度 収支予算 (案) について
- [第 5 号議案] 平成 18・19 年度 役員改選 (案) について
- [第 6 号議案] 規約第 12 条改定 (案) について
- その他について



議案説明 (事務局)

---

[議案要旨]

本年はこれまでの「地元のデザイン業を活かした県下独自のブランドづくり」の趣旨を継承し、次の3つを方針として活動して参ります。

1. 県下の産・学・官と協調し、ブランドづくりを進めるコンセンサスを広げる
2. デザインをはじめとする専門性（人材）を結束し、県下のブランドづくりの実践を支援する体制及び方法を確立する
3. 信州ならではのブランド価値を創造する知識・能力を高める

特に当協会では、昨年来ブランドづくりに要する専門性が集う会の特性をどう活かして行くかについて議論を重ね、調査・企画・デザイン・宣伝販促・知財化といった会員が有する専門的な知識・能力をネットワーク化し、それを基に県下の企業・団体・自治体等が行うブランドづくりを支援する事業構想をまとめました。ここで、それを推進するための組織として当協会内に「ブランドづくりネットワーク信州」を新設します。

この組織のメンバーは各々商品開発やマーケティング・デザイン・宣伝販促について実務キャリアを有し、県下の情報機器や産業機械メーカー・広告代理店・デザイン事業所・調査会社・研究機関といった当協会の20社程の事業所に属する専門員で構成します。

それらが融合してブランドづくりやコンセプトを研究することでノウハウを蓄積し、県下からの要請に応じてコンサルティングやコーディネート、及び専門実務の受託斡旋といった支援を行うよう計画しています。

また、本年第3回目となる「信州ブランドアワード2006」及び「信州ブランドフォーラム2006」を、昨年と同様の産・学・官協調による実行委員会により、開催を予定しています。



議案審議

---

14:50 新任役員代表挨拶

常任理事：綿貫国際特許・商標事務所 所長・弁理士  
綿貫隆夫 氏



綿貫常任理事

理事：エムケー精工 常務取締役商品開発研究所 所長  
竹田唱一 氏



竹田理事

---

---

14:55 来賓挨拶

長野県 信州広報・ブランド戦略室 室長 武田雅宏 氏



武田室長

---

15:00 閉会

## [記念講演会]

---

15:15 開会

[講師]

岡 正子 氏

岡正子デザインオフィス 代表

OKA 学園トータルデザインアカデミー 校長

[演題]

信州発ブランドとデザインの可能性

～「ECOMACO」は信州からのメッセージ～

[要約]

ファッションは夢を売る仕事で表舞台は華やかですが、裏では地味な作業の積み重ねです。流行を追うのがアパレル産業の定型でありそれに沿ってやってきましたが、なかなか本当に創りたいモノが見出せず、東京や海外に拠点を移そうかということも含め、デザイナーとして先行きを悩んでいました。流行とはユーザーを意図的に刺激して買わせる戦略でもあるので、そこにも何か空しさを感じていました。

試行錯誤の中で改めて周りの自然の美しさに気付くようになって、「長野（自分の根）」「創作活動（デザイン）」「次の世代に伝えたいこと（教育）」といったことの方向性が繋がりはじめました。それは流行とは違う不動のテーマ、具体的には「信州の自然をまとう」といった追及すべきコンセプトを持てたことによります。自分として本当に創りたいモノを足元で見出したことで、拠点は長野に定まりました。

流行よりスケールの大きい、ブレないコンセプトを軸に、分野を越えて人を集め仕事をコーディネートする、この頃そんなことが重要な時代になってきたと感じます。自分の生き方と仕事は重なった方がいい訳で、それはこの様なコンセプトを得て可能になりました。

そんな仲間が県下で増え、コラボレーションがやり易くなりました。競争が全てじゃない、信州の自然はそれを気付かせてくれました。これをデザインの素地にしないのはもったいないし、ここに生まれそれを表現できるのは有り難いと思います。そんな価値観を共有する人達のコラボレーションがこの協会を核に広がると、信州発の新たなブランドづくりも進むのではないのでしょうか。私達の宝物をどう活かすか、益々これからが大切になると思います。



岡講師



講演の様子

---

16:30 閉会

---

## [交流会]

16:45 開会

16:46 主催者挨拶



深沢副会長

---

16:48 来賓挨拶・乾杯



宮本顧問

---

16:50 歓談



交流会の様子



鈴木常任理事



MIE Design 内田さん



ブリヂストン 梶川さん

---

18:30 中締め



小林常任理事

---

以上